

令和4年度
環境消防委員会
行政視察報告書

1 期 日
令和4年7月20日（水）～7月22日（金）

2 視察先及び調査事項
岡山県西栗倉村
・脱炭素先行地域について
山口県山口市
・コミュニティタクシーについて

3 出張者
委員長 御 莊 秀 樹 副委員長 今 井 廣 一
委 員 越 智 由美子 委 員 坪 井 剛
委 員 高 橋 章 哲 委 員 越 智 俊 幸
委 員 武 田 功

随行職員 越 智 順 哉

7月20日（水）

特 定 調 査 事 項

岡 山 県 西 栗 倉 村

- 脱炭素先行地域について
 - 1 環境モデル都市の取組について
 - 2 脱炭素先行地域に選定されるまでの経緯について
 - 3 脱炭素先行地域づくり事業の内容について
 - 4 課題について
 - 5 今後の取組について

岡山県西粟倉村

R4. 7. 20 (水)





生きるを楽しむ



SDGs 未来都市
西栗倉村

西栗倉村のゼロカーボン政策

再生可能エネルギーで地域経済と雇用創出する

西栗倉村 地方創生特任参事 上山隆浩

©2022 vill.nishiwakura.office

■西栗倉村の概要

西栗倉村は岡山県の東北端部にある人口1400人の村である。「平成の大合併」を拒否し、自主自立の道を選択した。2058年に「上質な田舎」になることを目指した「百年の森林構想」を着想し、多様なローカルベンチャーと協働して森林の集約化による適正管理と木材の付加価値化に挑戦している。また、再生可能エネルギー導入にも積極的に取り組み、低炭素な地域づくりと地域内資源循環を起こしている。このような村のビジョンと取組は、村に多様な人材を呼び込み、産業の多様化や関係人口の拡大につながっている。



吉井川源流 若杉天然林

©2022 vill.nishiwakura.office

■西粟倉村の紹介

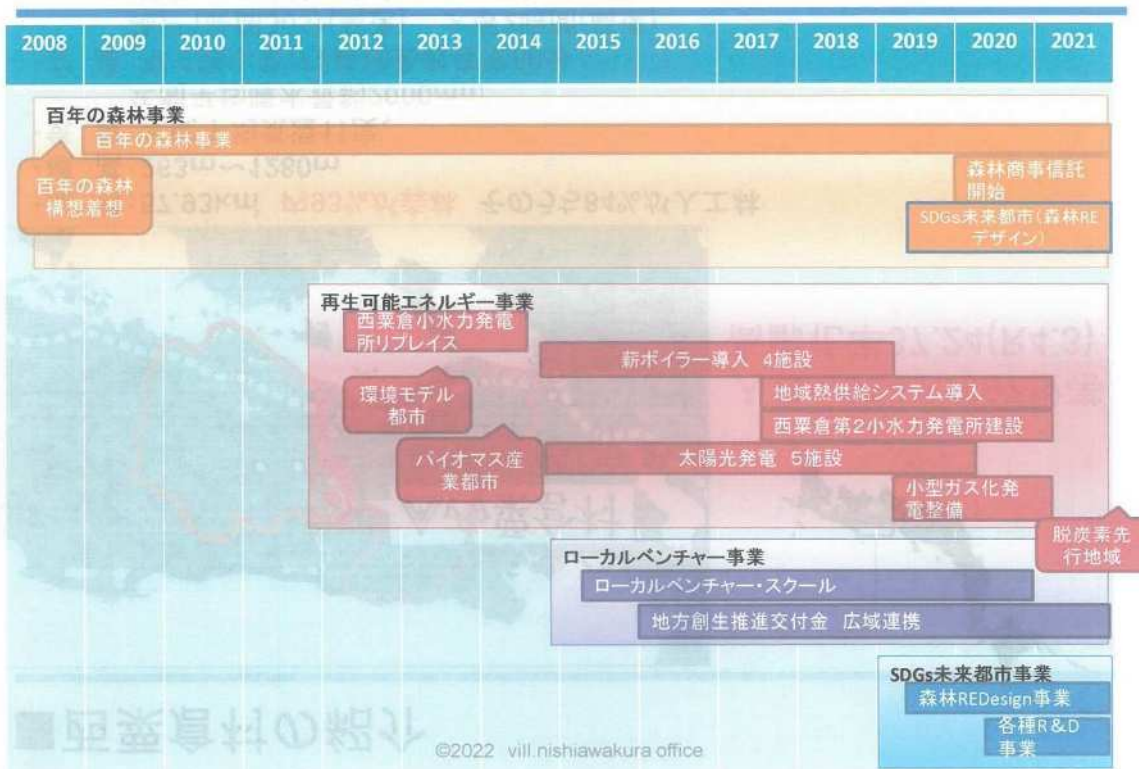


人口1,384人/597世帯
高齢化率37.24(R4.3)

- ・面積:57.93km² 内93%が森林 そのうち84%が人工林
- ・標高:263m~1280m
- ・気候:年間平均気温11度、
年間平均降水量約2000mm
- ・交通:車で岡山県庁2時間鳥取空港50分
神戸1時間30分(高速) 大阪2時間(高速)
特急→新幹線で東京まで 最短 4時間30分
鳥取県・兵庫県と隣接して因幡街道(山陰・山陽の動脈)

©2022 vill.nishiwakura office

■これまで15年間の経緯



©2022 vill.nishiwakura office

■西栗倉村のこれまでの取組

Point 1

50年先のビジョン

- 「百年の森林に囲まれた上質な田舎」
- 衰退する一次産業にフォーカス
- 自治体のチャレンジ

百年の森林構想

自治体(西栗倉村)

- 森林施業(補助事業)

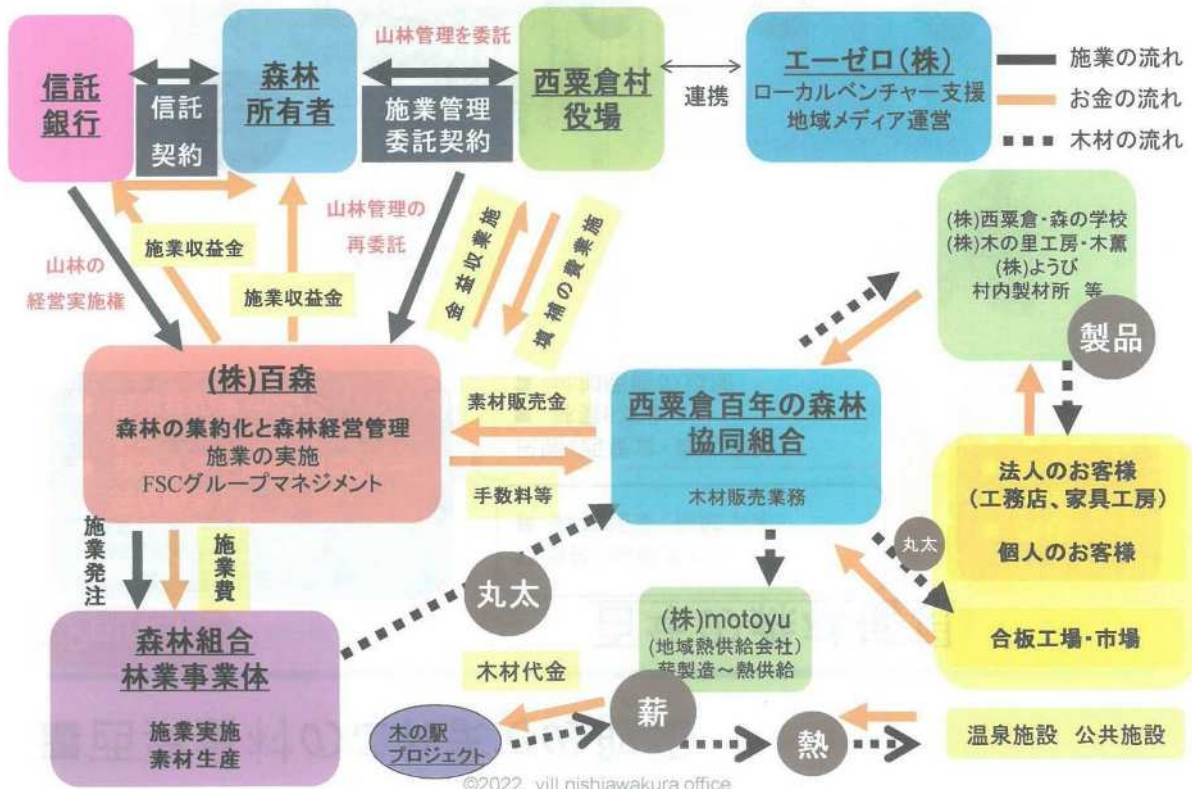
民間(西栗倉・森の学校)

- 林業6次化
- 付加価値の添加

- 共感
- 共有
- 発信力
- 見える化



森林資産をデッドストックにしない取組



「百年の森林事業」の契約内容

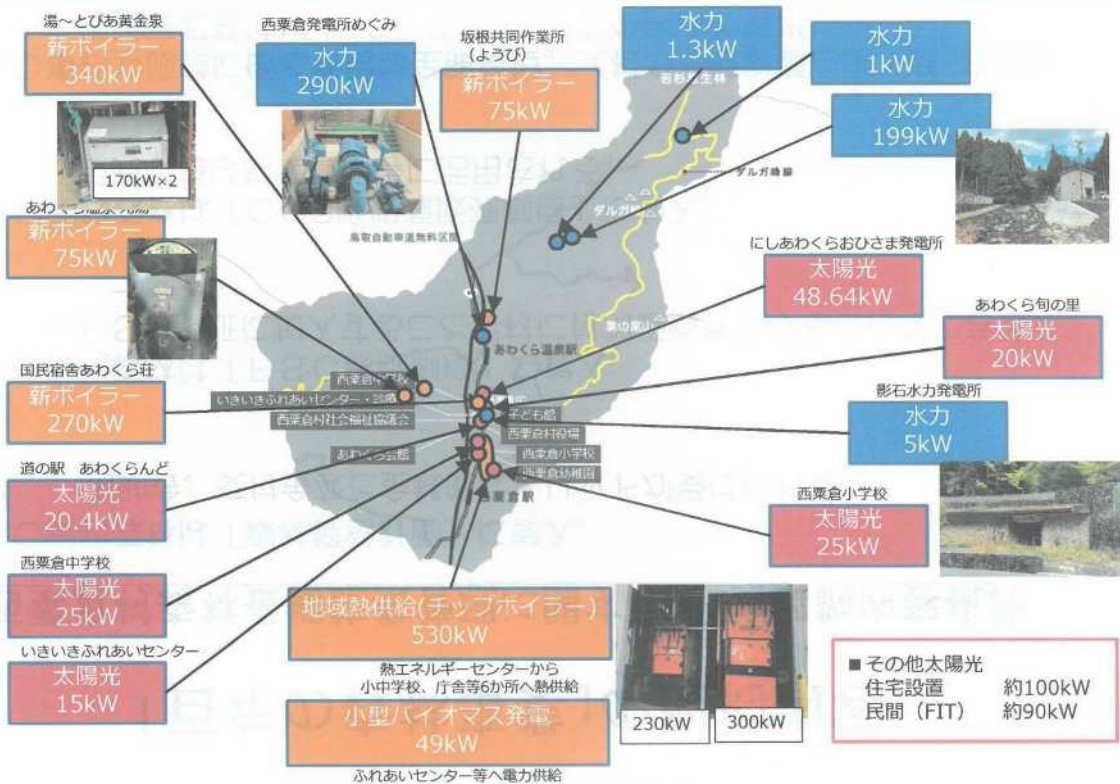
「西粟倉村森林長期施業管理に関する契約」契約内容抜粋

- 契約森林は「森林経営計画」に参入。
→補助金、交付金など金銭的なメリットが受けられる。
- 契約森林は「FSC認証制度」に参入。
→FSC認証に加入することで材に付加価値をつけることができる。
- 契約森林は「CO2吸収源販売制度」に参入。
→販売収益は施業費用等に活用される。
- 事務や施業に係る費用は全額負担。（村の一般財源と国・県補助金）
丸太販売収益は村1/2、所有者1/2の割合で折半。

©2022 vill.nishiwakura office

Point2

脱炭素先行地域・環境モデル都市



©2022 vill.nishiwakura office

「百年の森林事業」の間伐材の流通



村内温泉施設3か所へ木質バイオボイラーの導入



森林をエネルギー資源として活用する



公共施設6か所の木質バイオマス地域熱供給システムの導入



小型バイオマス発電(自立発電)



ガス化システム



ディーゼルエンジン



自営線

発電出力：49kW
 平常時：自家消費
 災害時：避難所空調電力
 エスペ社製(イリア)

©2022 vill.nishiwakura office

森林がもたらす水をエネルギー資源として活用する



流域面積 1850^{ha}

使用水量 0.95^{m³/SEC}

(3か所)





発電出力最大 494KW

年間発電量3,635,000kwh



©2022 vill.nishiwakura office

ゼロカーボンに取り組んできた直接的効果

 経済	<ul style="list-style-type: none"> ➢ エネルギー収入:水力発電 111,000千円 バイオマス 29,000千円 ➢ C材未利用材収入:1,600t 10,400千円 ➢ 林業・木材加工事業売上: 1億円→12億円
 環境	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 森林の年間二酸化炭素固定量:34,000t - CO² ➢ 年間二酸化炭素削減量:3,150t - CO²
 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 林業・木材加工関連事業新規就業者数:110人増 ➢ 木質バイオマスエネルギー事業新規就業者数:4人
 森林	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 森林の集約化面積:2,683ヘクタール ➢ 2009年からの整備面積 1,900ヘクタール (安全な森林面積が拡大)

©2022 vill.nishiwakura.office

Point3 多様な「産業クラスター」



The diagram illustrates a diverse 'Industry Cluster' with various sectors represented by colored circles and ovals:

- 木工 (Wood):** Pioneer 木工, 木薫 西栗倉・森の学校 ようび, 関野意匠室+絡操堂 mori no oto Kodama フレル 尾崎漆工房
- エネルギー (Energy):** Sonraku Motoyu
- 福祉 (Welfare):** じゅ〜く
- 食 (Food):** Ablabo フレル食堂 maison de frouge エーゼロ くんちでん チーズ観光協会 おさじ 喫茶サーナの家
- 森林計画 (Forest Planning):** 百森
- 森林整備 (Forest Maintenance):** 青林 岡田林業 清勝
- 衣・小物 (Clothing/Accessories):** UKIYO SOMEYASUZUKI SIBUYA鞆 MAMO SAOL
- デザイン (Design):** nottuo ようび 西栗倉・森の学校 Nabeshima Design
- 宿 (Lodging):** 元湯 軒下図書館 天徳寺 あるの森
- 万屋 (General Store):** 小松組
- 酒屋 (Sake Shop):** 酒うらら
- 医療福祉 (Medical/Welfare):** 医療福祉 中間支援等 エーゼロ ようび sonraku
- 教育 (Education):** いろいろ歯科クリニック こじか助産所 ネ Social Animal Bond にしあわくらモンテッソーリ子どもの家 NEST ほんまもん
- 不動産 (Real Estate):** クラシカ エーゼロ
- 建築 (Architecture):** ようび エーゼロ
- コンサルティング (Consulting):** げんこつ 野々企画 Forest Eye エーゼロ
- ジビエ (Wild Game):** エーゼロ 野々肉 ES
- 研究 (Research):** JPチャンネル みるまると研究所
- You tuber:** JPチャンネル

©2022 vill.nishiwakura.office

リサイクルからアップサイクルな地域政策への展開

西粟倉村は近年、地域に根ざしたビジネスを展開する「ローカルベンチャー」の集積地として注目を集めています。

ローカルベンチャーとは、「自分の視点を持ち、見落とされていた地域ある宝物を上手に発見して仕事をつくる。」起業のことで、これまでに50社が起業しています。

西粟倉・森の学校

西粟倉の森林の100年

sonraku

youbi

多様なLVの出現

22億円

新規雇用創出 221人

100億円の企業誘致より1億円のLV100社

8億円

経済規模

©2022 vill.nishiwakura office

■西粟倉村のこれまでの取組の成果

Point4 人口減少を食い止めてきている



国立社会保障・人口問題研究所『日本の市区町村別将来推計人口』(平成20年12月推計)と実際の人口の差を見ると、当時の予測からはプラス100人、特に15歳未満の子どもたちが+80人と8割増しとなっている。

©2022 v

【全体】

	実際	予測	差
2005年	1,684	1,584	+100
2010年	1,520	1,550	-30
2015年	1,472	1,426	+46
2020年	1,398	1,298	+100

【15歳未満】

	実際	予測	差
2005年	184	104	+80
2010年	163	138	+25
2015年	191	116	+75
2020年	178	98	+80

■ゼロカーボンの視点から見た持続可能な地域づくり

13 気候変動に具体的な対策を

7 持続可能なエネルギーを

15 陸の豊かさも守ろう

百年の森林事業

再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業を中心に地域内資源循環を起こす

[百年の森林構想]を基本理念として林業にチャレンジする

地域に多様な人材を呼び込み産業の多様化や関係人口の拡大をさせる

ローカルベンチャー事業

11 住み続けられるまちづくりを

4 質の高い教育をみんなに

3 すべての人に健康と福祉を

©2022 vill.nishiwakura office

■脱炭素先行地域への取組

Action1 共同提案コンソーシアムの編成

- 2021年11月 ●脱炭素先行地域の応募を計画
PWCあらた有限責任監査法人との出会い
- 2021年12月 ●脱炭素先行地域コンソーシアムの編成
PWC、中国銀行、テクノ矢崎、エックス都市研究所、エーゼロ
- 2022年1月 ●脱炭素先行地域提案書の作成
PWCが全体調整と進捗管理、他は担当分野を記載
- 2022年2月 ●脱炭素先行地域提案書の提出
コンソーシアムはそのまま共同提案者となる。

- ・電気・エネルギー使用量の実態調査
- ・利用可能な再生可能エネルギー設備の種類と量
- ・削減可能なCO²排出量の検討
- ・実施スキームの検討

■脱炭素先行地域への取組

Action2 脱炭素先行地域対象エリアの編成



■脱炭素先行地域への取組

Action3 具体的な事業の計画

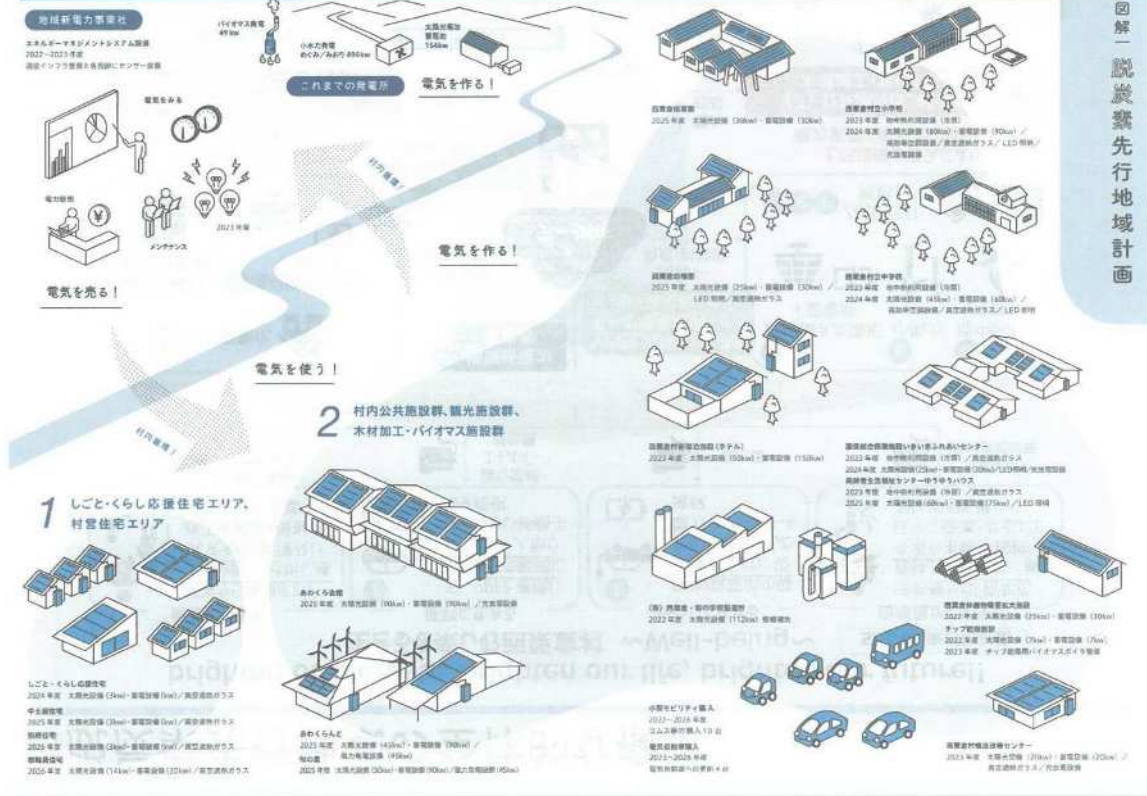
	施設種別	施設数	導入設備	電力需要量(kwh)
①	庁舎・文化施設	1	太陽光発電・蓄電池	313,758
②	教育施設	2	太陽光発電・蓄電池、井水冷房、LED照明、全熱交換機、真空遮熱ガラス	158,417
③	福祉施設	4	太陽光発電、井水冷房、LED照明、真空遮熱ガラス	301,229
④	宿泊施設	1	太陽光発電・蓄電池	216,000
⑤	商業施設	2	太陽光発電・蓄電池、陸上風力発電	594,824
⑥	その他産業施設	4	太陽光発電・蓄電池、真空遮熱ガラス	306,362
⑦	戸建住宅	54	太陽光発電・蓄電池、真空遮熱ガラス	297,000
⑧	集合住宅	1	太陽光発電・蓄電池、真空遮熱ガラス	25,000

カーボンゼロの考え方

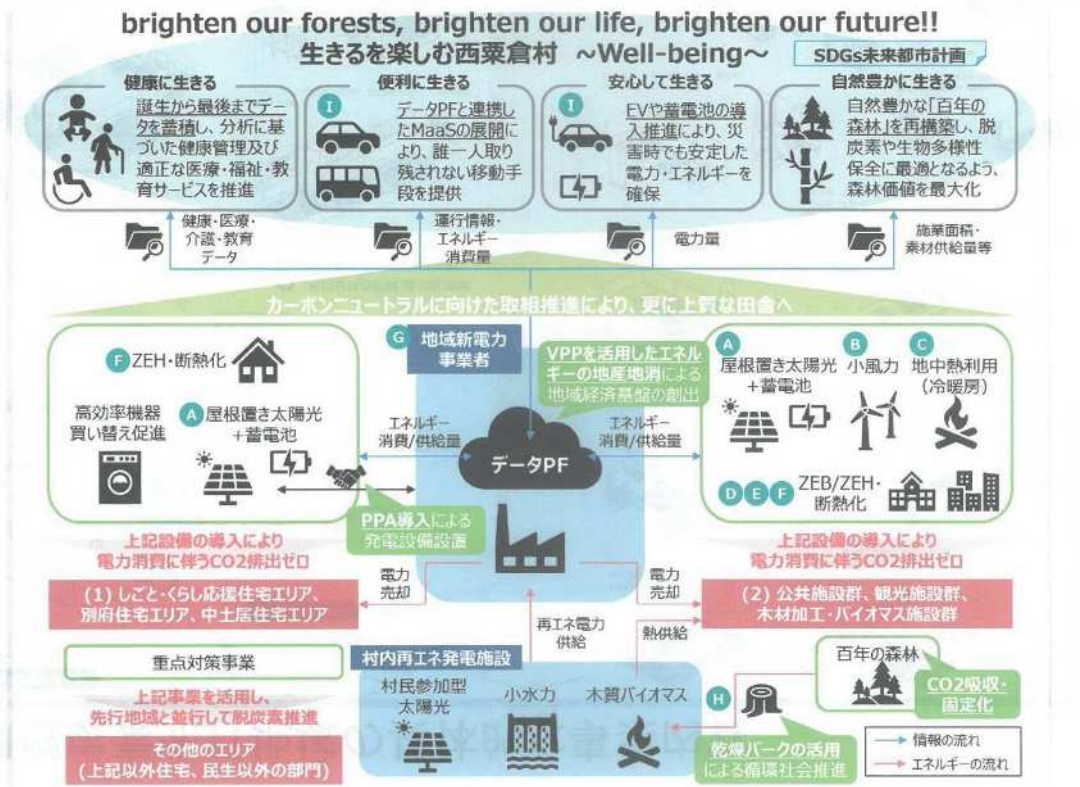
電力需要量2,212,590kwhー省エネ電力削減量325,591kwh=1,886,999kwh

1,886,999kwh=再エネ導入量1,039,680kwh+既設太陽光161,700kwh+既設水力685,619kwh

■脱炭素先行地域の具体的な事業内容

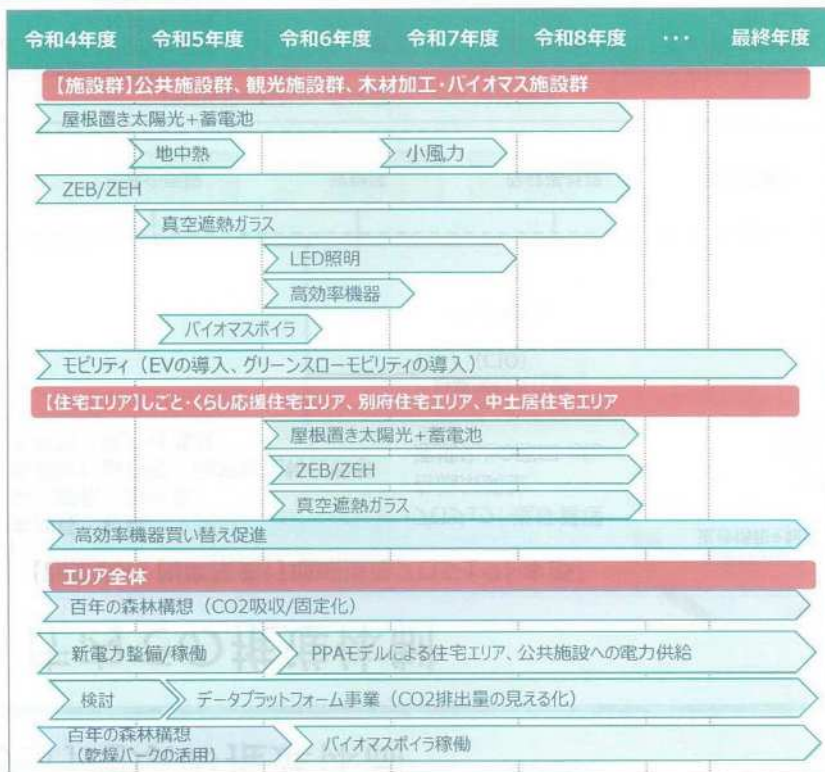


■脱炭素先行地域の全体的な構想



■脱炭素先行地域の具体的なスケジュール

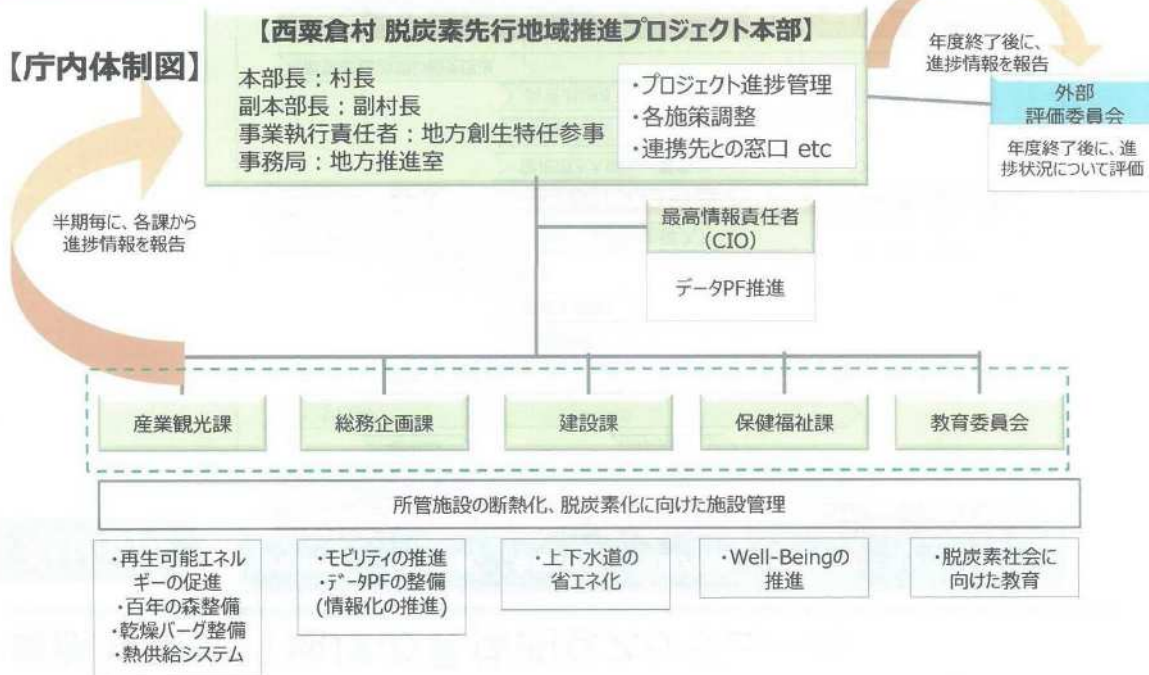
Action4



■脱炭素先行地域の推進体制

Action4

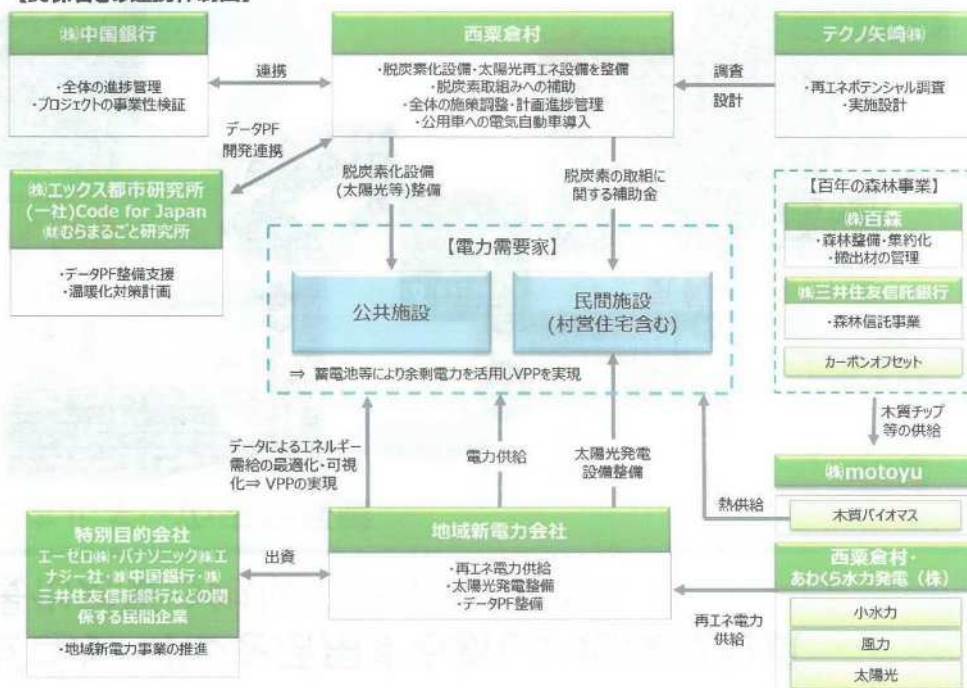
庁内での推進体制



■脱炭素先行地域の推進体制

Action5 関係者との連携体制

【関係者との連携体制図】



■ゼロカーボンを活用する新しい地域の視点

温暖化対策→地域の安全保障政策

エネルギーの安全保障



Brighten our Forests,
Brighten our Life,
Brighten our Future!!



生きるを 木 しむ

西栗倉村



©2022 vill.nishiwakura office

7月21日（木）

特 定 調 査 事 項

山 口 県 山 口 市

- コミュニティタクシーについて
 - 1 公共交通の概要について
 - 2 具体的な取組内容について
 - 3 効果について
 - 4 課題について
 - 5 今後の取組について

山口県山口市

R4. 7. 21 (木)





山口市の交通政策について

「市民、事業者、行政が協働し みんなで創り育てる」

令和4年4月 交通政策課

山口市の交通網

交通政策課





合併

- H17.10 1市4町合併
(山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町、徳地町)
- H22. 1 阿東町を編入

課題

持続可能なまちづくりへの政策転換

面積 1,023.23km²
人口 197,422人

非効率な都市構造

高齢化率 27.0%

社会福祉費の増加

強いマイカー依存
非線引き都市

都市のスプロール化

2

公共交通を取り巻く課題

【公共交通の厳しい現状】

- ・公共交通利用者の減少に歯止めがかかっていない。
(昨今のコロナ禍の影響によりさらに減少している状況)
- ・路線バスの不採算路線に対する補助は、10年で2.6倍。
- ・バスやタクシーの運転士が不足し、確保が困難。

【マイカーに過度に依存した社会の進行】

- ・市民の通勤通学、買い物、通院の主な移動手段はマイカー。
- ・山口市におけるガソリン消費量は全国1位。
- ・高齢者の免許保有者数の増加。
- ・運転に不安を抱える方の増加や、運転免許返納の動きの加速。

【市民の意識】

- ・「公共交通の充実」の重要度が高い一方、満足度が低い。
- ・7割の市民が1年に1回もバスを利用されていない。

マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりが必要

利用しやすい公共交通環境の整備が必要

協働により持続可能な交通まちづくりを目指すことが必要

まちづくり各分野政策との連携・連動が必要

今後、ますます人口減少と少子高齢化が進んでいく中であっても、豊かで安心した生活を送ることができるよう、持続可能な公共交通を育て支えていく必要があります。

3

●基本理念

育て支えよう！みんなの公共交通

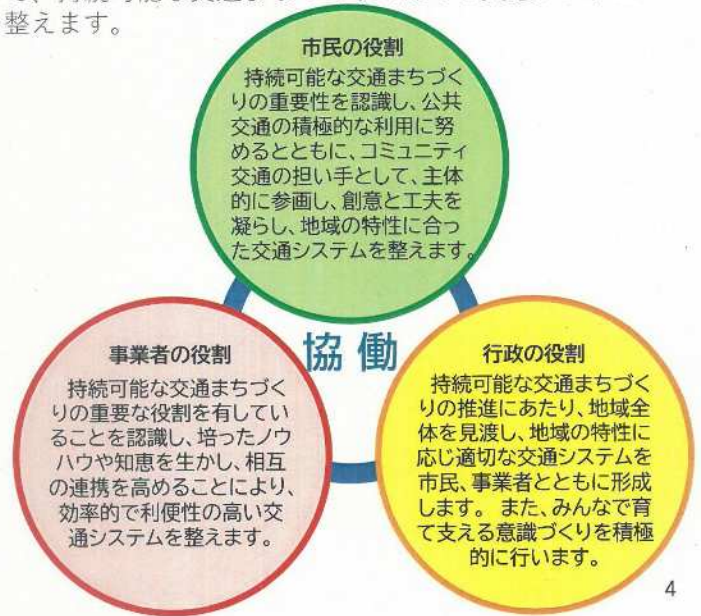
～マイカーに頼り過ぎないまちづくりを目指して～

●基本目標

- ・目標1
マイカーに頼り過ぎない交通まちづくりの推進
- ・目標2
利用しやすい公共交通環境の整備
- ・目標3
日常生活を支える持続可能な生活交通の確保
- ・目標4
豊かな暮らしと交流のまちづくりに寄与する公共交通網の構築

●取組姿勢

みんなが主役となって、それぞれの役割を果たし、協働して、持続可能な交通まちづくりのための交通システムを整えます。



基幹交通・支線交通

○基幹交通

JR山口線



JR山陽本線、宇部線



幹線バスの確保・維持

市民の広域移動を支えるために、路線バスの欠損部分に対する補助を行っています。



コミュニティバスの運行

基幹交通を補完し、交通弱者の移動手段を確保するために、コミュニティバスの実証運行を行っています。



○支線交通

生活バスの運行

過疎地域の地域拠点と生活拠点を結び、生活基盤を支える支線交通として市が運行しています。

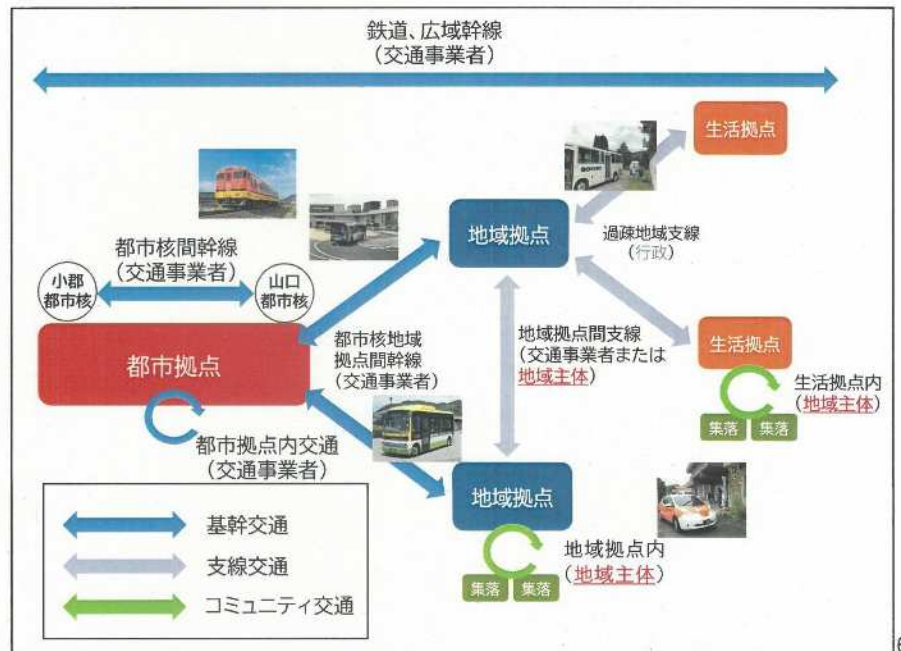


○市民、事業者、行政が協働し、適切な役割分担のもと、公共交通体系を整える。

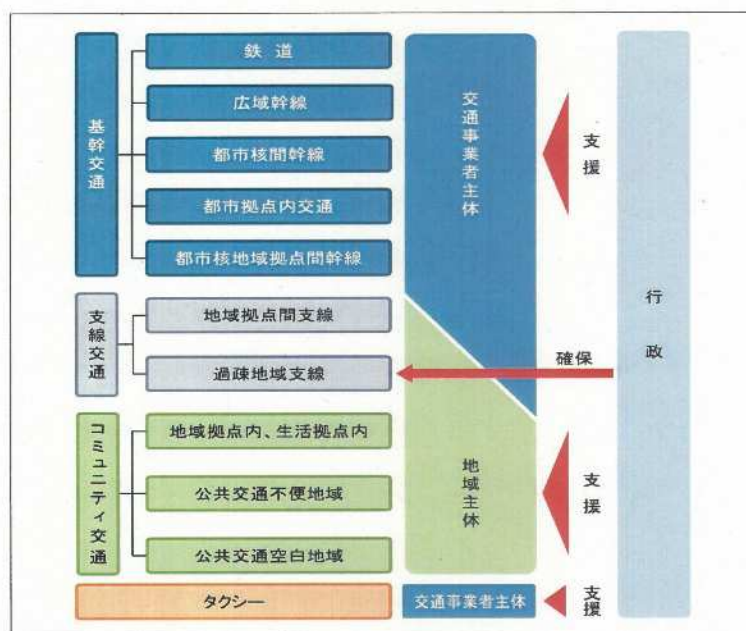
鉄道や路線バスなどの「基幹交通」については、交通事業者が主体となり、また、コミュニティタクシーなどの「コミュニティ交通」については、地域が主体となって整え、行政がそれらを支援します。

「支線交通」については、需要に応じて交通事業者または地域主体で整えますが、担い手の確保が困難な過疎地域の地域拠点と生活拠点を結ぶものについては、地域にふさわしい路線となるよう地域と行政がともに協議し、整えます。

また、公共交通が十分に確保できないところは、需要に応じた移動手段の確保を地域とともに検討します。



公共交通の役割分担



7地域で、地域主体のコミュニティタクシー運行中

宮野地域：宮野コミタク
【H20.2.1運行開始】

沿線人口/世帯数	2156人/855世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月、水、金
運行便数	6便/日

島地域：藤木おたっしや号
【H22.4.1運行開始】

沿線人口/世帯数	400人/170世帯
運行の態様	区域（デマンド）
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月～金
運行便数	6便/日

小郡地域：サルビア号
【H19.12.25運行開始】

沿線人口/世帯数	3778人/1489世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月～土
運行便数	8便/日

小鯖地域：小鯖コミタク
【H20.2.25運行開始】

沿線人口/世帯数	894人/375世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	5人乗りセダン車両
運行日	月、水、金
運行便数	4便/日

阿知須地域：あじすあきらら5コミタク
【H20.10.1運行開始】

沿線人口/世帯数	9316人/3605世帯
運行の態様	定時定路線（一部デマンド）
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月～金
運行便数	2系統13便/日

秋穂地域：菜の花号
【H20.2.26運行開始】

沿線人口/世帯数	2836人/1077世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月、水、金
運行便数	2系統2便/日

佐山地域：ふれあい号
【H20.10.1運行開始】

沿線人口/世帯数	2942人/1124世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月、水、金
運行便数	2系統12便/日

嘉川地域：みんなでGO!
【H20.1.26運行開始】

沿線人口/世帯数	583人/220世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月、水、金
運行便数	7便/日

地域の皆様が自分たちの問題として考え、地域特性・ニーズにあったルート・ダイヤに改善していただいています。

●コミュニティタクシー

交通不便地域の交通弱者の移動手段を確保するため、地域組織が主体となり、市民、事業者、行政が協働し、地域の中心地や基幹交通までを路線バスのように運行する乗合タクシー。

現在、市内7地域で運行中。（令和3年5月から吉敷地域において実証運行中）

運行地域	小鯖	宮野	嘉川	小郡	佐山	阿知須	藤木
事業主体	小鯖コミュニティタクシー推進協議会	宮野地区コミタク運行協議会	嘉川コミュニティタクシー推進協議会	サルビア号を育てる会	佐山地区自治連合会	阿知須コミュニティ交通協議会	藤木おたっしや号運営協議会
運行事業者	山口交通	湯田都タクシー	嘉川タクシー	いさむや第一交通 湯田都タクシー	嘉川タクシー	中央交通 宇部相互タクシー	島地タクシー
運行開始日	H20.2.25	H20.2.1	H20.1.28	H19.12.25	H20.10.1	H20.10.1	H22.4.1
運行区間	地区中心部～上小鯖	熊坂、上恋路、中恋路～地区中心部	相原～岡屋～免地	地区中心部～高台8地区	地域中心部～新地、由良	地域中心部～岩倉～青畑	地区中心部～上藤木～小河内
運行日	週2日運行（水・金）	週3日運行（月・水・金）	週3日運行（月・水・金）	週6日運行（月～土）	週3日運行（月・水・金）	週5日運行（月～金）	週6日運行（月～土）
運行便数	1日2便	1日6便	1日8便	1日8便	1日9便	1日14便	1日6便
基本運賃	300円	300円	300円	200円	350円	350円	300円

※全地域、福祉優待バス乗車証利用可（70歳以上であれば1乗車100円）

●グループタクシー利用券

人口密度が低く高齢化が進むなど、コミュニティタクシーの運行が難しい交通不便地域に住む高齢者に対して、「グループタクシー利用券」を交付し、買い物や通院など日常生活における移動負担の軽減を図るとともに、一般タクシーの共同利用による地域コミュニティの活性化を図る。



○交付要件(すべての要件を満たすこと)

- ・年齢要件 65歳以上の方
- ・距離要件 最寄りの公共交通機関から1km(75歳以上の方は700m)以上離れている方
- ・その他 福祉タクシー利用券またはおでかけサポートタクシー利用券を受けていない方

○申請方法

- ・要件を満たす、原則として4人以上のグループで申請

○利用方法

- ・1乗者につき1人1枚利用できタクシー運賃から利用券の額を差し引いた運賃を現金で負担する(相乗りするほどお得)

1km(75歳以上の方700m)以上1.5km未満	<u>300円券×60枚</u>
1.5km以上4.0km未満	<u>500円券×60枚</u>
4.0km以上	<u>700円券×60枚</u>

●おでかけサポートタクシー利用券(所管部署:健康福祉部高齢福祉課)

要支援・要介護認定等を受けた方の外出を支援するため、タクシー料金の一部を助成する「おでかけサポートタクシー利用券」を申請により交付。

○対象者

- ・要支援・要介護認定を受けている方。
 - ・介護予防・日常生活支援総合事業のうち介護予防・日常生活支援サービス事業対象者
- ※福祉タクシー利用券およびグループタクシー利用券の受給者は除きます。

○利用方法

一乗車で1枚300円の利用券が使用でき、料金が1,000円を超えるごとに1枚ずつ追加使用が可能。

○年間交付枚数 40枚

福祉タクシー利用券（福祉施策）

交通政策課

●福祉タクシー利用券（所管部署：健康福祉部障がい福祉課）

障がいのある方の日常生活と社会活動を支援するため、タクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー利用券」を申請により交付。

○対象者

- ・身体障害者手帳を受けている方
1級から3級：年間80枚、4級から6級：年間40枚
- ・療育手帳を受けている方
療育A：年間80枚、療育B：年間40枚
- ・精神障害者保健福祉手帳を受けている方
1級：年間80枚、2級から3級：年間40枚

※おでかけサポートタクシー利用券およびグループタクシー利用券の受給者は除きます。

○利用方法

一乗車で1枚300円の利用券が使用でき、料金が1,000円を超えるごとに1枚ずつ追加使用が可能。

12

福祉優待バス乗車証（福祉施策）

交通政策課

●敬老福祉優待バス乗車証（所管部署：健康福祉部高齢福祉課）

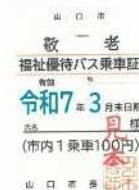
○対象者

70歳以上の方

○利用方法

路線バス（高速バス・夜行バスは除く）を「市内」及び「市内から市外」、「市外から市内」へのバス利用時に、一乗車100円で利用可能です。

降車の際、「福祉優待バス乗車証」を提示し、100円を現金でお支払ください。



●障がい福祉優待バス乗車証（所管部署：健康福祉部障がい福祉課）

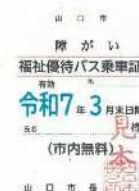
○対象者

重度の心身障がいのある方

○利用方法

路線バス（高速バス・夜行バスは除く）を「市内」及び「市内から市外」、「市外から市内」へのバス利用時に、無料で利用可能です。

降車の際、「福祉優待バス乗車証」と「障害者手帳等」両方を提示してください。



13

公共交通に関する情報発信

広報紙、ウェブサイト、SNSや啓発イベントなどを通じて公共交通に関する情報を発信。



モビリティマネジメントの実施

過度なマイカー依存状態から、公共交通等を上手に利用することを促すモビリティマネジメントを実施。



バスの乗り方教室の実施

子どもや高齢者などを対象に、公共交通におけるマナーや乗り方を学習する教室を開催。



ノーマイカーの促進

公共交通の利用促進、環境負荷の軽減、渋滞の緩和、交通事故防止に向けたノーマイカー通勤の習慣化のためエコ通勤・ノーマイカーデー実施。



シェアサイクル実証事業

市内各所に設置されたステーションであれば、スマートフォンを利用して、どこでも自転車をレンタル/返却することができるもの。観光や、市民の生活における新たな移動手段として実証中。

○利用料金 30円/15分 上限700円/8/時間未満 ※お支払い方法はクレジットカードのみとなります。

○利用方法

- 1.専用のスマートフォンアプリをダウンロードの上、会員登録を行ってください。（※会員登録のメールが来ない場合、メールフィルター設定によりフィルタリングされている場合がございます。）
- 2.ステーションで、アプリ上の【借りる】をタップし、自転車についているQRコードを読み込むと解錠され、レンタルが開始されます。
- 3.ステーションで自転車の鍵を締め、アプリ上で【返す】をタップし「返却に成功しました」と表示されれば返却完了です。

○サイクルステーション（市内24カ所、70台）

山口エリア

山口県立大学グラウンド側交差点	寺内公園	山口ふるさと伝承総合センター
山口県庁前 バス停	山口県立図書館 駐輪場	山口市役所 駐輪場
一の坂川交通交流広場	山口井筒屋	コープやまぐちこことどうもん店 駐輪場
山口駅 駐輪場	山口市教育委員会 駐輪場	山口県労働者福祉文化中央会館
ファミリーマート山口泉都町店	防長苑	湯田地域交流センター
ホテルニュータナカ	維新公園レノ丸ステーション	湯田温泉駅 駐輪場
アルク平川店	山口大学（正門）	

小郡エリア

小郡総合支所 駐輪場	KDDI 維新ホール 駐輪場	風の並木通り
平成公園 駐車場内		



▲スマートフォンアプリ「ecobike」ダウンロード

わかりやすい公共交通情報の提供

誰もが容易に公共交通情報を得られるよう、市内の鉄道、バス、コミュニティタクシー等を網羅した総合時刻表や公共交通マップを発行。



バスロケーションシステムの導入支援

バス利用者が正確な運行状況を把握することでバスを安心して利用できるよう国、県とともにバスロケーションシステムの導入を支援。

バスのご利用には「バスロケーションシステム」が便利です!バスの到着予想時刻やその路線の行先などが無料で分かる便利なシステムです。是非、ご利用ください。

防長交通

中国ジェイアールバス

宇部市交通局

交通系ICカードの導入支援

市民や来訪者の移動の円滑化のため、国、県とともに交通系ICカードの導入を支援。

宇部市営バスで交通系ICカードICocaが利用できます

ご利用可能なICカード: ICoca (ICoca Plus, ICoca Plus for Kids, ICoca Plus for Seniors, ICoca Plus for Students, ICoca Plus for Commuters, ICoca Plus for Tourists)

ICocaが利用できるバス事業者: 宇部市交通局 (0836-31-1134)

中国ジェイアールバスの路線バスではICocaが利用できます!!

待合・乗継環境の整備

商業施設等との連携や結節点へのバスロケの設置、中山間地域型パーク・アンド・ライドである置くくとバスや、サイクル・アンド・ライドの整備などの推進。

置くくとバス駐車場

「置くくとバス」は、バスを駅や商業施設などに置くことで、徒歩で目的地まで行くことができます。

利用しやすいバス路線網の確立

バスのルート及びダイヤ、便数を見直し、わかりやすく利用しやすいバス路線網の確立。

バリアフリー車両の導入支援

誰もが利用しやすい低床バスやユニバーサルデザインタクシー等の導入。

●サイクル・アンド・ライド

お住まいの場所から自転車で、バス停や駅などの近隣に整備された乗り換え用駐輪場（サイクル・アンド・ライド駐輪場）まで行き、公共交通に乗り換えて目的地まで行く方法。

サイクル・アンド・ライド駐輪場

この駐輪場は、自転車からバスへ乗り換えるときにも利用できます。

待合からはみ出さないように駐輪してください。

駐輪場内での事故等、トラブルには一切責任を負いません。



○実施箇所

地域	実施場所	最寄バス停
1 仁保	スーパーまるしょう仁保店	道の駅仁保の郷
2 宮野	防長交通山口営業所	宮野車庫前
3 大内	アルク大内店	光円寺前、アルク大内店
4 大内	大内地域交流センター	大内地域交流センター前
5 大内	ゆめタウン山口	ゆめタウン山口
6 白石	一の坂川交通交流広場	西京橋
7 白石	山口市民会館	市民会館前
8 白石	山口情報センター (YCAM)	情報芸術センター前
9 白石	アルク山口店	商工会館前
10 湯田	ファミリーマート山口泉都町店	NTT山口前
11 湯田	コープいずみ店	稲葉団地入口、泉町
12 吉敷	吉敷地域交流センター	吉敷
13 大蔵	維新百年記念公園第11駐車場	山口総合支援学校入口
14 平川	アルク平川店	台
15 平川	平川地域交流センター	平川小学校前
16 小郡	上郷駐輪場	上郷駅前
17 小郡	小郡総合支所駐輪場	下山手
18 秋穂	西中国信用金庫秋穂支店	下村
19 阿知須	サンパークあじす店舗西側駐輪場	サンパークあじす

●置くとバス駐車場

住み慣れた地域内は自分で運転できても、地域外に運転して行くのは不安という、主に中山間地域の高齢者を対象に、車を置いて公共交通（バス・鉄道等）に乗り換える際に利用できる駐車場を整備。

○実施箇所

	地域	実施場所	最寄バス停
1	徳地	防長交通堀駐在	バス停：堀
2	徳地	やまぐちサッカー広場第2駐車場	バス停：掛鼻
3	名田島	山口南総合センター	バス停：南総合センター前
4	鑄銭司	鑄銭司地域交流センター	バス停：四辻駅入口 駅：JR四辻駅

置くとバス駐車場

～軽トラ置いてバスでらくらくおでかけ!～



※始発から終便(6:00～21:00頃)まで利用できます。
 (それ以外の場合は、出入口が閉鎖されます。)
 ※駐車場でトラブルについては、一切責任を負いません。
 ※駐車可能区域は、左記位置図のミドリ色の部分です。

お問い合わせ先

山口市公共交通委員会 TEL 083-934-2729
 防長交通株式会社 電話 TEL 0835-52-1212
 FAX 083-934-2959





運転士確保事業

●運転士不足の現状

山口市公共交通委員会において、令和2年9月に行った調査では、山口市内で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数は、バス運転士が3社で11人不足、タクシー運転士が16社で53人不足と、かなり深刻な状況であることがわかる。現状維持のために不足数分の時間外勤務や休日出勤等の負担が生じており、このまま進行すると路線の縮小やサービスの低下などが予測される。

そのため、同委員会では、運転士確保事業として以下の取組を行っている。

●バス・タクシー運転士体験会

バス・タクシーの車両や現役運転士と接する機会を設けることで、交通事業への理解を深め就業へのきっかけづくりとすることを目的としてこれまでに2回開催、実際の採用につながっている。

●運転士不足の現状の周知

バス車内アナウンスや広報紙、SNS等を用いて、不足の現状、運転士が地域を支える大切な仕事であること等運転士確保を呼びかける。

山口市で現状の交通サービスを維持するための運転士の不足数
(令和4年1月現在)



山口市の コミュニティタクシー

令和4年7月21日(木)

西条市議会様 行政視察資料

コミュニティバスの運行と市民交通計画の策定



山口市営バスから事業引継



山口コミュニティバス

山口市市民交通計画

創ろう!守ろう!
みんなの公共交通

山口市市民交通計画



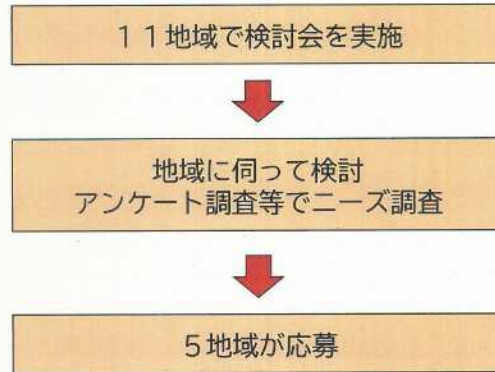
平成19年9月
山口市



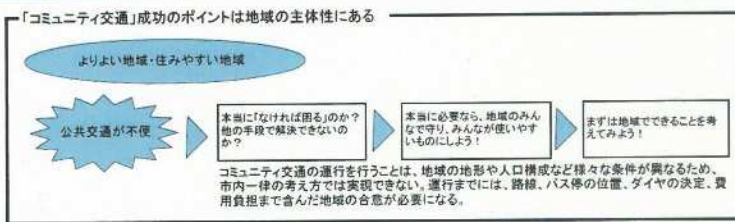
平成19年9月策定



平成19年5月
コミュニティタクシーモデル地域募集



コミュニティタクシーの導入



- コミュニティタクシー実証運行【1年間】**
- 対象地域 (①～③全てを満たす地域)
 - ①交通不便地域
 - ②高齢者など移動に不自由している人の多い地域
 - ③地域自らが主体となって運行に取り組む地域
 - 事業主体 地域組織
 - 運行範囲 地域内(最寄の駅やバス停、地域の中心地間)
 - 運賃 移動距離や採算性の観点から地域が決定

- ～地域主体のメリット～
- ・ルートやダイヤ、バス停などに地域の実情を反映させやすい
 - ・地域に貢献したい身近な事業者の参加も促せる
 - ・愛着が持たれ、みんなが利用するようになる
 - ・交通を介して地域づくりや地域の連帯感が強まる

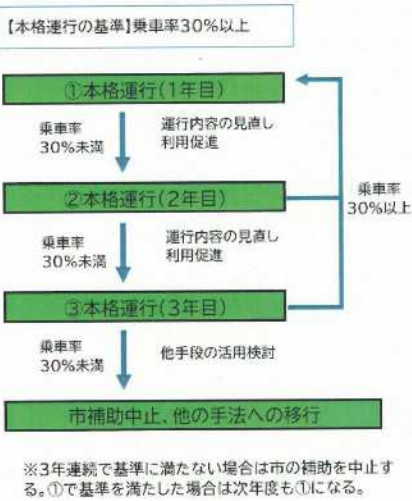


- 本格運行【3年以内に基準を達成することを条件に補助】**
- 定性的基準 ◇交通不便地域 ◇高齢化率 ◇地域主体 ◇地域の協力
 - 定量的基準
 - ◇収支率 30%以上 (年間乗車人数×正規運賃+協賛金等)÷運行委託費
 - ※地域内に病院または商業施設がない場合は、25%以上
 - ※H31に収支率基準は撤廃 現在の基準は次ページ参照
 - ◇乗車率 30%以上 1便あたりの乗車人数÷使用車両の定員

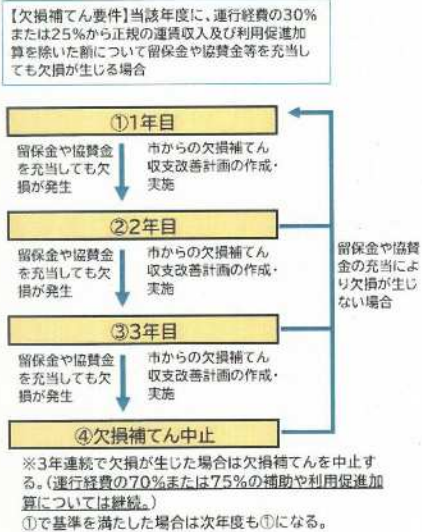
- みんなで議論して改善
- 利用促進、協賛金の募集、運行計画改善など
 - 利用促進、車両小型化、運行計画改善など

運行継続・廃止の判断を行う「運行基準」、欠損補てんの要否を判断する「欠損補てん要件」

運行継続・廃止等の判断



欠損補てんの判断



【地域負担と補助】

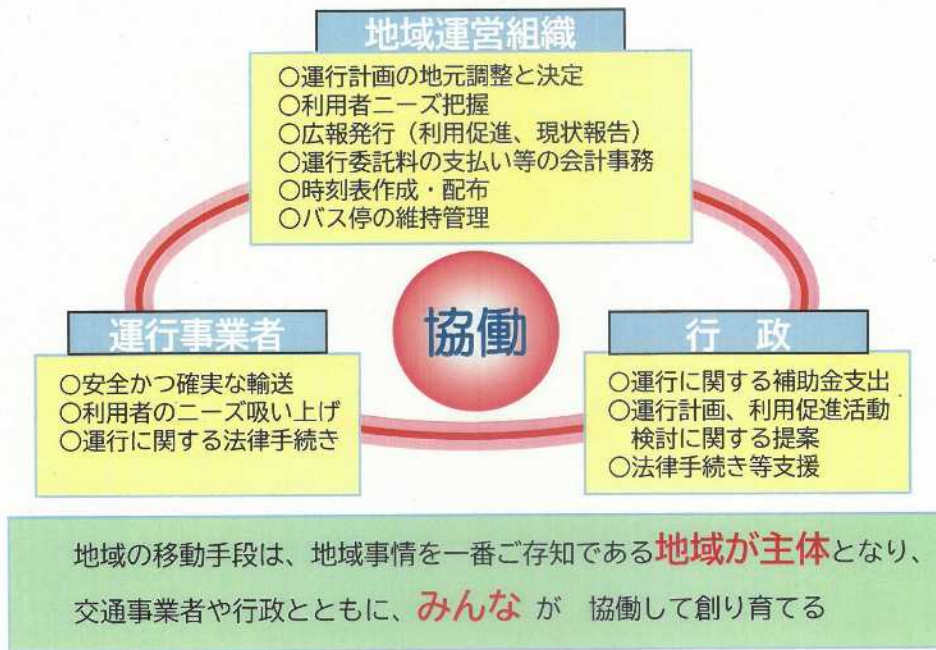


【支出】

運行経費…タクシーのメーター運賃（距離制）を基準として各系統の距離に応じて計算した経費
事務管理費等…時刻表の作成、地域への広報紙、停留所の維持管理、会議費等

【収入】

運行経費補助…運行経費に対して70%補助するもの（地域内に商業施設や医療機関がない地域は75%）
事務管理費等の補助…事務管理費等への補助（100%補助）
利用促進加算…乗車率が35%超えた場合は、超えた乗車人数×乗車運賃 を上乗せ補助
協賛金等…地域内の事業者からの協賛金、広告料
運賃収入…1乗車200円もしくは300、350円、回数券も含む



7地域で、地域主体のコミュニティタクシー運行中
※1地域実証運行中(吉敷地域)

沿線人口/世帯数	2156人/855世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月、水、金
運行便数	6便/日

沿線人口/世帯数	400人/170世帯
運行の態様	区域（デマンド）
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月～金
運行便数	6便/日

沿線人口/世帯数	3778人/1489世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	9人乗りジャンボ車両
運行日	月～土
運行便数	8便/日

沿線人口/世帯数	894人/375世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	5人乗りセダン車両
運行日	水、金
運行便数	4便/日

沿線人口/世帯数	9316人/3605世帯
運行の態様	定時定路線（一部デマンド）
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月～金
運行便数	2系統13便/日

沿線人口/世帯数	2942人/1124世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月、水、金
運行便数	2系統12便/日

沿線人口/世帯数	583人/220世帯
運行の態様	定時定路線
運行車両	4人乗りセダン車両
運行日	月、水、金
運行便数	7便/日

地域の皆様が自分たちの問題として考え、地域特性・ニーズにあったルート・ダイヤに改善していただいています。

交通不便地域の交通弱者の移動手段を確保するため、地域組織が主体となり、市民、事業者、行政が協働し、地域の中心地や基幹交通までを路線バスのように運行する乗合タクシー。

現在、市内7地域で運行中。（令和3年5月から吉敷地域において実証運行中）

運行地域	小鯖	宮野	嘉川	小郡	佐山	阿知須	藤木
事業主体	小鯖コミュニティタクシー推進協議会	宮野地区コミタク運行協議会	嘉川コミュニティタクシー推進協議会	サルビア号を育てる会	佐山地区自治連合会	阿知須コミュニティ交通協議会	藤木おたっしや号運営協議会
運行事業者	山口交通	湯田郡タクシー	嘉川タクシー	いさむや第一交通 湯田郡タクシー	嘉川タクシー	中央交通 宇部相互タクシー	鳥地タクシー
運行開始日	H20.2.25	H20.2.1	H20.1.28	H19.12.25	H20.10.1	H20.10.1	H22.4.1
運行区間	地区中心部～上小鯖	熊坂、上恋路、中恋路～地区中心部	相原～岡屋～免地	地区中心部～高台8地区	地域中心部～新地、由良	地域中心部～岩倉～青畑	地区中心部～上藤木～小河内
運行日	週2日運行 (水・金)	週3日運行 (月・水・金)	週3日運行 (月・水・金)	週6日運行 (月～土)	週3日運行 (月・水・金)	週5日運行 (月～金)	週6日運行 (月～土)
運行便数	1日2便	1日6便	1日8便	1日8便	1日9便	1日14便	1日6便
基本運賃	300円	300円	300円	200円	350円	350円	300円

※全地域、福祉優待バス乗車証利用可（70歳以上であれば1乗車100円） 8

実証運行実績

地域名	小鯖	宮野	嘉川	小郡	秋穂	佐山	阿知須	藤木
使用車両	ジャンボ	ジャンボ	中型	ジャンボ	ジャンボ	小型	小型	バス車両、小型
1便あたりの乗車人数	1.9人	1.3人	1.9人	4.4人	2.3人	1.0人	1.9人	2.6人
1月あたり	144人	119人	190人	730人	173人	187人	576人	265人
乗車率	22%	14%	38%	49%	26%	25%	48%	22%
収支率	28%	27%	25%	35%	38%	13%	20%	32%

運行改善、利用促進で効率的で利便性の高いコミュニティタクシーへ

停留所、車体表示の改善
停留所のデザイン、車体表示を改善し、認知度向上



おでかけツアー
コミタクと路線バスを乗り継ぐおでかけツアーを実施



地域事業と協力
認知度向上のため、演歌コンサートやカレンダー作成



- ◇地域の老人会やお祭り、選挙時に臨時便を運行
- ◇コミタク通信を発行
- ◇回数券購入者にプレゼントをするキャンペーンを実施
- ◇車内でヒアリングして生の意見を聴取

令和2年度実績

地域名	小鯖	宮野	嘉川	小郡	秋穂	佐山	阿知須	藤木
使用車両	小型	ジャンボ	小型	ジャンボ	H27.8月末運行終了	小型	小型	ジャンボ・小型
1便あたりの乗車人数	2.0人	2.2人	1.4人	4.8人		1.5人	1.8人	2.2人
1月あたり	50人	161人	165人	1,050人		190人	518人	172人
乗車率	48.0%	24.1%	32.9%	55.4%		38.5%	43.6%	24.7%



コミュニティタクシー運行促進事業費

【千円】

年度	金額
平成19年度	3,696
20年度	22,832
21年度	27,755
22年度	32,026
23年度	32,303
24年度	35,323
25年度	37,629
26年度	37,513
27年度	36,621
28年度	35,293
29年度	35,553
30年度	34,583
令和元年度	35,282
2年度	38,241

要因
■小郡、嘉川、宮野、秋穂、小鯖地域が運行を開始 (H19.12~H20.2)
■佐山、阿知須地域が運行を開始 (H20.10)
■島地地域が運行を開始 (H22.4)
■嘉川地域が1便増便 (H23.6)、小郡地域が週5日から週6日運行へ (H23.12)
■宮野地域が実証運行実施 (H24.10~H25.9)
■嘉川地域が2便増便 (H27.4)
■秋穂地域が運行終了 (H27.8)
■小鯖地域が2便減便 (H29.10)
■タクシー運賃の改定 (R2.2) によりコミタク委託料の増
■コロナ禍による減収補てん (R2年度)